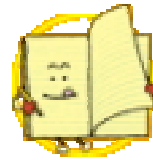


園だより



第 5 号

平成 19 年 7 月 25 日

やってみせて 言って聞かせて、 させてみて ほめてやる・・・

“やってみせて 言って聞かせて させてみて ほめてやらねば 人は動かず...”これは組織を運営していくうえでの示唆になる先人の言葉です。さらには、組織だけでなく教育で子どもを育てていくうえでも、教師や親が基本的な理念として、胸の中に留めておかなければならないと思います。

とかく教師や親は子どもの短所に目が向き、それを口で指摘して教育や子育てをしようとする傾向があります。子どもに限らずどんな人にも短所があり、それを挙げればきりがありませんし、短所を指摘するだけでは人は育ちません。ですから、この様な短所指摘型の指導から脱皮が必要です。

そのためには、先ず、親や教師が望ましいやり方をやってみせることが求められます。例えば、道路の横断についても、子どもの手を引っぱって親が横断歩道のない所を無理して渡る姿を見かけますが、あれは交通安全の態度は身につけるうえで心配なことです。最近、ばんけい幼稚園ではバスに乗るまでの坂道で転んで怪我をすることがないように、次のことを指導しています

教師が先にたつてやってみせながら安全について言って聞かせました。それでも走ってしまう子どもには走ってはいけない訳を教えて、やり直しをさせる等の厳しい指導もしました。

その後には、教師が先にたつことを止めて、子どもに自分達だけで歩かせることにしています。

もちろん、放任するのではなく、そこでは教師がしっかりと見守って実行させています。

そして、できるようになったら“惑わずに、しっかりとほめる”ことです。ともすれば、教師や親はほめることを忘れがちですが、ほめることで子どもは確かな成長の姿を見せてくれます。

子どもを育て必要なことを身につけさせるのは簡単ではありませんが、全体的には目を見張るような変化の様子を見せています。それが、ばんけい幼稚園が進める長所伸長型の指導です。

どの子どもにも素晴らしい能力や個性が潜在しています。ただし、それはどの子どもも同じではありませんので他と比べるのは避けたいものです。子どもの可能性を信じて、やさしい眼差しで見つめ温かい心で接していくのが教育や子育ての基本であることを心に留めておかなければなりません。

油断大敵・安全に十分注意を...

例年、夏休み中に交通事故や水の事故で、尊い命を失うことが繰り返されます。そのほとんどが油断や注意不足が原因で起きています。特に、旅行をする時や海に出かけた時等、日常とは異なる過ごし方をする場合には、親がしっかりと子どもの様子を把握しなければなりません。

川や海・山等に出かけた時には、子どもから絶対に目を離さないこと

知らない場所にとどまる時には、子どもに危険な場所を把握し近寄らないこと

休憩等で駐車場等に止まる時には、子どもだけで行動させないこと

誘拐や通り魔的な出来事も想定して、注意深く行動させること

運転をする保護者の皆様も安全運転を心がけ、家族が事故に巻き込まれたり事故を起こして辛い思いをしたりすることがないように、お互いに気をつけたいと思います。

ここでも、やって見せて、言って聞かせて、させてみて、できたらほめてやることを、心がけながら、楽しい夏休みを過ごしていただくことを願っています。

宿題は、いっぱい抱っことお手伝いを...

ばんけい幼稚園は、例年、夏休みの宿題を出します。すでに実行しているご家庭も多いと思いますが、いっぱい抱っことお手伝いです。お父さんやお母さん・おじいちゃん・おばあちゃんにいっぱい抱っこしてもらい、温かい血が通い合っていることを確かめ、より強い絆を築いていただくことを願っています。抱っこされた時の子どもの嬉しそうな顔を見てあげてください。

そして、子どもができるお手伝いを続けるようにすることです。また、休み中には、これまでとは違う自分でできるお手伝いを見つけさせることがあっていいと思います。家族の一員としての自覚を持ち、働くことの大切さや楽しさを感じ取ることにもつながります。

家の中でゲームに偏る生活にならないように留意し、ばんけいっ子らしくお手伝いをして、いっぱい外で遊んで健康な生活を過ごしていただくことを願っています。

幼少期における運動・体育

教育アドバイザー 我満 嘉治

幼少期にいろいろな運動を行うことの重要性は多くの人が知るところですが、今回は集団行動(協調)と頭脳行動(考えて動く)の面から考えてみたいと思います。

スポーツに限らず、身体を動かして集団で行う遊びを行ううえで必ず存在するのはルールです。例えば、ボール運動や鉄棒・マット等の道具を使う場合、お互いが使う順番を待ったり譲り合ったりという決め事が必要になります。みんなで楽しむためには、みんなで守らなければならない“掟”が自然に生まれます。人の遊びを見ながら自分の順番が来るまで辛抱強く待つこと・自分が使っている時間も時間が来たら次の人に潔く譲ることをはじめ「協力し合う」という社会に調和するための基盤が築かれていきます。また、遊びを通じて“頭脳を使うこと”も養われます。鬼ごっこやかくれんぼでは、鬼から上手く逃げるために効率よく走ったり(戦術)、ジャンプやでんぐり返し等で人がやった成功や失敗の例を見て参考にしたり(ヒントの模索)して、より上手くこなす為に工夫する意識が育ちます。すなわち、人間が生きていくうえで欠かせない“考えて動く”ということが身につきます。

パソコンの普及等で子ども達が身体を動かして遊ぶことが少なくなった今の時代、走り回って身体を動かし、みんなで遊ぶという体験をたくさんさせて、心身共に健やかに育ててほしいものです。

《父さんの会へのご参加を...》

8月5日(日) 10:00~12:00

在園児のお父さんに限らず祖父の皆さん・卒園児のお父さんや知り合いの方々にも参加いただき、幅広い方面の方々と意見交換をしたいと願っています。男性の立場から意見や助言を、是非お聞きしこれからの教育や子育てに生かしていければ幸いです。

- ・ いじめについての考え方や対策
- ・ これからの教育や子育てに求められるもの
- ・ 子育てでの父親の役割

お茶を飲みながら気軽な雰囲気の中で、本音で語り合う場にしたいと思っています。

天気がよければお母様も一緒に来られて、園の周りで子どもを遊ばせていただいても結構です。

ただし、教師は研修等に参加していて人数が足りないなので、子どもの安全管理は各自でお願いします。(今のところ参加希望人数が少ないので、申し込みをしていない方も電話でご一報のうえご参加ください)

省エネ宣言

= 明日からでは間にあわない、今直ぐに自分でできることを... =

海の水位が上がったり動植物の生態に変化が出たりして、地球の温暖化が現実の問題になってきました。このままでは、今、生きている人間も大きな被害を受けることになると言われてます。“自分さえよければ・・・”の考えが、全体を滅ぼすこととなります。

北海道庁から、幼稚園にも温暖化対策への取り組みの調査が来ました。それに、ばんけい幼稚園は“今年度から取り組む...”と回答し、できることから直ぐに実行します。

日本では、企業などからの二酸化炭素(CO₂)の排出量は以前より減っていますが、家庭から出る量がかなり増えているそうです。それは、家庭で使う電気やガスの量が多くなっていて、そのことで火力発電による排出量が増加しているそうです。二酸化炭素(CO₂)はバリアを作って温室のようになって熱の上昇を妨げるだけでなく、二酸化炭素が熱い赤外線を取り込んで大気中を漂うという説を聞きました。そうすると、人間は赤外線を取り込んだ熱い二酸化炭素を吸い込むことになり、健康被害につながるのではないかと思います。

各地で竜巻等の異常な気象や自然現象が多発している現実をしっかりと見て、今直ぐ自分ができることから自分のために実行しなければなりません。“自分だけがやっても...”とか“誰かがやってくれるのでは...”“面倒くさい...”等と考える人も多く、それが二酸化炭素が減らない最大の原因になっています。24時間ついている自動販売機も気になります。

《ばんけい幼稚園では》

照明をこまめに消し、自然の光を使うことを心がける
電気器具のコンセントをできるだけ抜いておく
車のアイドリングは避けるようにする
パソコンを使わない時には消しておく

等のことを実行することにしました。子どもの教育に支障がある節約はできませんが、無駄なエネルギーを使わないように心がけていきます。ささやかですが、園で出た使用済紙やビニール・プラスチックは事務室の者が家に持ち帰って町内会等の資源回収に出しています。

シートベルトの義務化が始まった時にはとても面倒でしたが、今では何とも感じない人が多くなりました。省エネ対策も“やってみるとできる”と信じて実行することが大切です。

それぞれのお宅でできることもたくさんあると思いますが、如何でしょうか...

使っていない部屋の照明を消す
冷房や暖房を適切な温度に調整する
水の使い方の節約に努める
遠くない所には、できるだけ歩いて行く
買い物には、エコ袋を持って行く

エコのためのエゴになる...、そのためには、ごみになる物(過剰包装や袋詰等)は買わない・家の電気代を安くする・歩いてガソリン代を節約する等々、家族の健康と家計のためのエゴになることが求められています。それは決してケチではありませんし、地球の未来のため...等という大げさに考えることでもなく、自分と子どものためだと思ってやればいいことです。

現実に土地が水没しつつある島国があり“このまま何もしないでいると、地球は後100年もたない”と言う専門家もいます。今、環境問題は他人事ではないことを認識して、一人ひとりが危機感持ち実行力を発揮して、子ども達にも省エネの大切さを伝えたいと思います。

横断歩道が危ない!

先日、小学校のスクールゾーン実行委員会に出席した際に、西警察署の方から子どもの交通事故や交通マナーについての説明がありました。

横断歩道での事故がとても多いこと

自転車に乗っていて事故に遭う場合が多いこと

自転車は車両であることを知らない人が多いこと

交通の規則やマナーを守らない大人が多いこと

等の説明がありました。(自転車で違反をした場合にも違反キップを切られるそうです)

特に、子どもの事故は横断歩道で起こる場合が非常に多いということで、平成 18 年の札幌の小学生の事故の半数を占めています。(裏面資料参照)

“横断歩道が危ない...”と、これまでも注意していただいていることが資料によって証明されています。今朝も横断歩道で、私の車の前を小学生が斜めから入ってきて全力で駆け抜けて行きました。以前には、自転車が斜めから急に横断歩道に進入して来て、発進しようとした私を睨みつけて行ったこともあります。

横断歩道は、左折する車・右折する車が進入する危険な所であることを、しっかりと子どもに意識させて横断の仕方を指導しなければなりません。幼稚園では、言葉での指導はできますが、現場での指導は保護者の皆様をお願いしなければなりません。

多くの人が“横断歩道は安全...”と勘違いしていますが、資料にも表れているように“横断歩道が危ない...”ことをしっかりと意識して、子どもには現場での指導が必要です。また、自転車に乗っている時の事故が多発していますので、近くの横断歩道で指導していただくこともお願いします。それは、これから安全な生活をしていくうえで欠かすことのできない大切な能力を育てることです。

《父さんの日へのご参加を...》

8月5日(日) 10:00~

在園児のお父さんに限らず祖父の皆さん・卒園児の父さんや知り合いの方々にも参加いただき、幅広い範囲の人々と意見の交換をし、これからの教育や子育てに生かしていきたいと願っています。男性の立場から意見や助言を、是非お聞きしたいと思います。

- ・いじめについての考え方や対策
- ・これからの教育や子育てに求められるもの
- ・子育てでの父親の役割

お茶を飲みながら気軽な雰囲気の中で、本音で語り合う場にしたいと思っています。

天気がよければお母様も一緒に来られて、園の周りで子どもを遊ばせ外でお昼ご飯を食べていただいても結構です。ただし、教師は研修等に参加して数人しかいませんので、子どもの安全管理は各自でお願いします。